

臨床研究「臓器横断的な胚細胞腫瘍の病理学的解析」について

筑波大学附属病院病理診断科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

本研究では、当院で胚細胞腫瘍と確定診断をした検体から分子生物学的な手法で得られる情報と臨床情報を手掛かりに、胚細胞腫瘍の発生や悪性化、治療抵抗性などに関わる因子を特定し、診断精度向上や治療方法の確立につなげることを目標としています。胚細胞腫瘍と病理学的に確定診断される症例の中でも、腫瘍の発生段階や形態・性質から複数のタイプに分類され、悪性度に差があることが知られています。私たちの研究室では、このようながんの悪性度をもたらす因子を特定し、腫瘍マーカーとしての有用性を検討することで、診断精度の向上を目指しています。

② 研究対象者

1996年4月～2024年3月に筑波大学附属病院で胚細胞腫瘍と診断された方

対象診療科：脳神経外科、産科婦人科、腎泌尿器外科、呼吸器外科

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2027年(令和9年)3月31日

④ 試料・情報の利用を開始する予定日

利用開始(予定)日：2024年8月1日

⑤ 研究の方法

病理診断の終了後に当院に保存されている残余検体(ホルマリン固定パラフィン包埋検体)を利用し、パラフィン包埋ブロックから切り出した切片に染色を行います。

⑥ 試料・情報の項目

試料：病理診断後の残余検体(ホルマリン固定パラフィン包埋検体)

診療記録から抽出される情報：年齢、性別、臓器名、採取法、検査日付、臨床診断

病理診断報告書から抽出される情報：病理標本の番号、臨床診断、病理診断、病理所見

⑦ 試料・情報の第三者への提供について

なし

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

松原大祐 筑波大学 医学医療系 診断病理 教授

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんご本人やご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：病理部 松原大祐

電話：029-853-3865（病理部、平日 9:00～17:00）